

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	146 花と緑の美化活動事業					
予算科目	01-030110-12			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	市民協働係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市きれいなまちづくり第3次行動計画 第2次つくば市環境基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、市民活動団体
目的	まちの環境美化意識を高めるとともに地域のコミュニティの活性化を図る。
概要 (取組内容)	センター広場やTX駅前などの公共的な空間を季節の花で飾るとともに、花壇を維持管理することで市内の環境美化を行い、来訪者への歓迎の気持ちを発信する。 センター地区において参加者を募り、春と秋の2回、花苗の植栽を行う。 ウェルカムフラワー参加市民団体等への花苗配布を春と秋に行い、各地区の公共的な場所に植栽を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	6,137	6,300	6,300	
	決算額	(千円)	5,394	5,846	5,554	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,394	5,846	5,554	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,397	3,130	2,880	4,240	4,240	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.40	0.40	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	65.00	169.00	65.00	65.00	65.00
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市報やホームページによる情報発信
企画・立案、計画	計画書の作成
実行	事業参加
評価、検証	実績報告書の提出

指標の推移

1	指標名	市民参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	320.0	230.0	230.0	230.0	230.0	230.0
	実績	223.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	ウェルカムフラワーつくばセンター地区花壇づくりの参加人数 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市民によるセンター地区花壇づくりは中止になった。					

2	指標名	花苗配布団体数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	125.0	127.0	130.0	132.0	134.0	135.0
	実績	119.0	133.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	各地区の公共的な場所で植栽を行うウェルカムフラワー事業に参加する市民活動団体等の数					
3	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市民活動団体等への花苗の配布数を精査し、新規団体の受け入れを行った。	
成果	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「ウェルカムフラワーつくば地区花壇づくり」イベントは中止となったが、3密を避けながら「ウェルカムフラワー花苗配布」事業が実施できたことで、市民活動による環境美化意識の向上とともに、市民活動をPRすることができた。	
課題	業務	市民活動による環境美化活動が、多くの市民に認知されていないことから広く周知を図る。
	組織、予算等	花苗配布を通じた市民協働を推進するために、花苗配布数の増加について精査を行うとともに、予算の増額をすべきか検討する。
改善目標	市民活動による環境美化運動の情報発信を市公式フェイスブックページ「市民活動のひろば」を活用し、情報発信に努める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	147 コミュニティ助成事業					
予算科目	01-030110-12			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	市民協働係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	自治総合センターコミュニティ助成事業実施要綱			SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	区会
目的	地域のコミュニティ活動の充実・強化を図る。
概要 (取組内容)	（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ組織に必要な備品の整備に対して助成を行う。 申請はつくば市・茨城県経由で行われ、補助金はコミュニティ組織2団体を上限に交付される。市から事業申請できるコミュニティ組織は市内の区会とし、抽選によって2区会を決定する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	5,000	5,000	5,000	
	決算額	(千円)	2,500	2,500	2,500	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	2,500	2,500	2,500	0	0
人件費	人件費計	(千円)	756	699	720	1,400	1,400	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	8.00	16.00	16.00	16.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市報やホームページによる情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	助成金事業を市報等で公開
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	市から県に申請する申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	コミュニティ助成金の申請件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	県への申請時に、申請者と詳細なスケジュール調整を行った。	
成果	250万円の助成金交付により、横町区会に神輿等が整備され、地域コミュニティの支援ができた。	
課題	業務	申請の際、添付資料の欠落が目立つことから、提出書類一式の周知を図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	申請者にわかりやすい「提出資料一覧」を作成する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	149 人権擁護事業					
予算科目	01-030110-13			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	自治振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	人権擁護委員法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律			SDGs	16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、児童・生徒
目的	人権尊重思想の普及拡大を図る。市民の人権を守り差別のない明るい社会の実現を目指す。
概要 (取組内容)	6月と12月に各2日間特設人権相談所を市役所内に開設する。 年間を通じて、いじめや差別などの人権問題解消に向け啓発活動を実施する。 人権擁護委員が講師となり、小中学生を対象に人権教室を実施する。 人権啓発イベント（講演会等）を実施する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,374	1,210	1,210	
	決算額	(千円)	1,364	1,299	1,160	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,364	1,299	1,160	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,360	5,895	4,166	4,547	4,547	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.80	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	190.00	35.00	190.00	190.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	人権啓発イベント時のアンケート調査
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	人権啓発イベント参加者率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86.0	86.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	63.0	116.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため「人権講演会」は、参加人数を制限して実施。定員60名。参加者70名。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和元年度の人権啓発イベント（講演会）は12月に開催したが、12月は市民部男女共同参画室のイベントと連続するため集客に課題があった。このことから、開催時期を10月に見直し集客を図った。
成果	人権啓発イベントは、インターネット上での誹謗中傷による人権侵害をテーマに講演会を実施し、ネット上での言葉の責任など広く啓発することができた。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、人権擁護事業（人権教室・特設人権相談等）は中止になった。
課題	業務 人権啓発イベント（講演会）は、時代のニーズにあった内容を検討していく。 組織、予算等 人権に関する業務は、自治振興係で対応しているが、当係の業務は主に自治会関連業務が中心となる。人権に関する業務は、課内室と連携した業務となり、今後多様化する人権課題に対応するためには、組織の見直しを関係部署と検討していく。
改善目標	多様化する人権課題に対応できるよう、人権講演会のテーマ選定等工夫し、多くの市民に周知できるよう啓発活動を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	150 更生保護事業					
予算科目	01-030110-14			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	自治振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	保護司法			SDGs	16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民
目的	罪を犯した人たちの更生を助けるとともに、犯罪の未然防止や青少年の健全育成に努め、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指す。
概要 (取組内容)	つくば市の保護司とつくば市更生保護女性会で構成されるつくば市更生保護連合会の活動を支援する。 つくば地区更生保護サポートセンターの運営を支援する。 「社会を明るくする運動つくば市大会」を開催し、更生保護に関する啓発キャンペーン及び講演会を実施する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	2,062	1,975	1,975	
	決算額	(千円)	1,565	1,639	1,297	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,565	1,639	1,297	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,474	5,895	4,103	4,547	4,547	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.80	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	25.00	190.00	9.00	190.00	190.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	社会を明るくする運動つくば市大会時のアンケート調査
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	啓発活動参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	118.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、「社会を明るくする運動つくば市大会」は中止になった。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため「社会を明るくする運動」をはじめとする更生保護活動について、本庁舎1階の展示スペースやホームページ等を活用して、市民に広く周知することができた。	
成果	保護司会及び更生保護女性会が行っている、罪を犯してしまった人の立ち直りの援助や、犯罪予防のための様々な活動について支援ができた。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、「社会を明るくする運動つくば市大会」は中止になった。	
課題	業務	社会を明るくする運動を通して、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため、市民に広く周知する必要がある。
	組織、予算等	更生保護に関する業務は、自治振興係で担当しているが、当係の業務は主に自治会関連業務が中心となる。そのため、庁内で更生保護に係る部署への組織の見直しが必要と考え、関係部署と検討をしていく。
改善目標	保護司会及び更生保護女性会の活動を支援し、「社会を明るくする運動」等を通して更生保護活動を広く周知していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	151 非核平和都市宣言事業					
予算科目	01-030110-16			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	市民協働係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市非核平和宣言			SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市民、児童・生徒
目的	非核平和に関する啓発事業等を通じ、市民の平和擁護に対する意識の醸成及び高揚を図る。
概要 (取組内容)	平和体験教室：市内小学5、6年生を対象に埼玉ピースミュージアムを見学して平和について学習する。 また、実施後は学習した内容についてパネルを作成し、市民文化祭で展示する。 青少年ピースフォーラム派遣事業：長崎市で毎年行われ、青少年ピースフォーラムに市内中学生6名を平和大使として派遣する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,729	1,750	1,750	
	決算額	(千円)	1,082	1,388	89	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,082	1,388	89	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,462	1,564	1,439	2,119	2,119	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	84.00	32.00	32.00	32.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、市民文化祭、パネル展等による情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	派遣学生による成果発表会、市民署名
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	平和体験教室参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市内小学生5・6年生対象の平和体験教室への参加人数 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、平和体験教室は中止となった。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「平和体験教室」、「青少年ピースフォーラム」「文化祭での平和パネル展」が中止となり、代替え事業として市役所内の「平和パネル展」を9月21日の世界ピースデーに合わせて実施した。
成果	「平和パネル展」で、つくば市非核平和宣言に基づいた啓発事業の歩みについて広く市民に報告するとともに、多くの写真パネルを展示し、視覚的に訴える展示方法に変更したことで、より多世代に戦争の悲惨さや平和の大切さを訴えることができた。
課題	<p>業務 戦争の悲惨さを伝えるための写真展示については、一部の市民に対し不快な思いを喚起する可能性があることから、写真の選定について多面的に配慮する必要がある。</p> <p>組織、予算等 特になし</p>
改善目標	「平和パネル展」において、多世代が戦争の悲惨さや平和の大切さを共感できるよう視覚的展示に努めるとともに、写真の選定に関しては最大の配慮を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	155 市民チャレンジへの支援						
予算科目	01-030110-20			担当部課	市民部市民活動課		
市長公約				係名	市民協働係		
戦略プラン	I-1	1	1	市民チャレンジへの支援及び相談先の明確化	新規・継続	新規	
	I-1	1	3	地域のコミュニティ拠点の可視化	事業分類	自治事務（任意）	
個別計画	特になし				事業体制	一部委託	
					事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市市民協働ガイドライン				SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民
目的	チャレンジの連鎖が生まれる社会を目指す。住みよい地域社会づくりのため、住民同士が互いに協力できるように支援を行い、地域活動の促進を目指す。個性溢れる魅力あるまちづくりを目指す。
概要 (取組内容)	市民活動団体等の取組を応援し、相談を受けるとともに、市民活動団体等の新たな活動を支援する。日常的な交流の場として気軽に立ち寄りやすい地域のコミュニティ拠点の設立支援や可視化を進める。行政の事業を法人・各団体等が行うことで、NPO活動等を活性化させ、より効果的・効率的な事業を展開する。 市民活動情報の提供基盤を整備することで、市民協働推進を図るための広報活動を実施する。 ※行政改革アクションプラン「67 つくば市市民協働ガイドラインによる市民協働の推進」、「75 つくば市民活動のひろばの活用」該当

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	810	1,000	1,000	
	決算額	(千円) 626	740	351	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 626	740	351	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 5,015	5,062	2,276	2,276	2,276	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.70	0.70	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間) 30.00	127.00	96.00	96.00	96.00
		会計年度任用職員有無	(-) 有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	フェイスブック、市報やホームページによる情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	情報の提供
評価、検証	アイラブつくばまちづくり推進委員会

指標の推移

指標名	相談件数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市民チャレンジへの相談件数（個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標 1）					

2	指標名	地域コミュニティ活動の拠点数 (箇所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	5.0	10.0	15.0	20.0	25.0
	実績	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	コミュニティ拠点の市ホームページへの掲載数 (個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標 1)					
3	指標名	団体等との協働事業実施数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	87.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
	実績	151.0	121.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら実施している事業数 ※行政改革アクションプラン「67 つくば市市民協働ガイドラインによる市民協働の推進」該当指標					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域拠点の発掘を行うことで、関係機関及び市民活動団体と連携強化を図った。	
成果	行政と市民活動団体が連携・協働を図りながら、協働事業の支援を行うことで、地域活動の促進に寄与することができた。	
課題	業務	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、この環境下でも行える新たな支援の方法について検討する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	市公式フェイスブックページ「市民活動のひろば」を活用することで、地域活動団体の発掘を行うとともに情報発信に努める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	156 市民活動センター管理運営事業					
予算科目	01-030110-20			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	市民協働係	
戦略プラン	I-1	1	2	市民活動の拠点となる市民活動センターの	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	指定管理者
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	公の施設の指定管理者の指定に関する条例、市民活動センター条例				SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民、市民活動団体
目的	指定管理者制度を活用しながら、管理・運営を行い、市民による公益的な活動を支援する。
概要 (取組内容)	市民活動を行うために必要な機能の提供（会議室、印刷機、パソコンの貸出し等） 市民活動団体等の活動情報の収集、市民活動に関する相談等の実施

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	13,583	14,000	14,000	
	決算額	(千円)	12,889	13,100	13,054	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,889	13,100	13,024	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	30	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,260	3,130	2,799	5,519	4,240	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.40	0.40	0.80	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	169.00	32.00	32.00	65.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	市民活動センター利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	13,600.0	13,700.0	13,800.0	13,900.0	13,950.0	14,000.0
	実績	13,795.0	2,844.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市民活動センターの年間利用人数（個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援					指標 1）

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	施設が狭隘であることから、複数の利用団体での使用が難しいため、市民活動団体等の活動地域に合わせた活動拠点の発掘を行い、新たな活動場所の情報提供を行った。	
成果	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、指定管理者制度に基づいた事業計画書とおりの実施とはいかなかったものの、実施できた講座・事業は適切に運営され、市民協働の推進に寄与することができた。	
課題	業務	令和3年度から、指定管理者から市直営に運営形態が変わることから、円滑な事務引継ぎを行い、サービス提供の低下を避ける必要がある。
	組織、予算等	令和3年度から、指定管理者から市直営に運営形態が変わることから、円滑な事務引継ぎを行い、適切な予算運用に努めるとともに、新たな運営形態に適合した予算編成を検討する必要がある。
改善目標	令和3年度から、指定管理者から市直営に運営形態が変わることから、円滑な事務引継ぎを行い、サービス提供の維持に努める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	終了
理由	令和2年度で指定管理者制度を活用した管理運営が終了し、令和3年度から市直営による管理運営に変更となるため。

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	157 アイラブつくばまちづくり補助金事務					
予算科目	01-030110-20			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約	7			係名	市民協働係	
戦略プラン	I-1	1	4	アイラブつくばまちづくり補助金による市	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	アイラブつくばまちづくり補助金交付要綱				SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	市民活動団体
目的	個性豊かで活力あるまちづくりの実現を目指すため、市民主体の公益的な活動を応援する。
概要 (取組内容)	アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、年3回の募集期限を設け、補助金を希望する団体の実施予定の事業に対して、ヒアリング審査を実施の上、可否を決定する。 事業実施後に実績報告により採択事業の評価を行う。 ※行政改革アクションプラン「74 市民等の自発的で公益的な活動への支援」該当

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	6,202	6,300	6,300	
	決算額	(千円)	5,110	1,727	1,068	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,189	1,103	904	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	3,921	624	164	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,089	4,695	4,321	5,681	5,681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.60	0.60	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	60.00	254.00	98.00	98.00	98.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市報やホームページによる情報発信
企画・立案、計画	アイラブつくばまちづくり推進委員会
実行	SNSによる情報発信
評価、検証	アイラブつくばまちづくり推進委員会、アイラブつくばまちづくりフォーラム、活動事例集の作成

指標の推移

指標名	補助金採択事業数 (事業)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	24.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	30.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標 1) (行政改革アクションプラン「74 市民等の自発的で公益的な活動の支援」該当指標)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	当該事業の充実を図るため、予算額100万円の増額を行った。また、採択された事業実施に向け協働関係を構築するために、市民活動団体と担当部署の打ち合わせを行った。	
成果	アイラブつくばまちづくり寄附基金を有効活用し、市民団体等が自主的に提案された事業に対し、補助金を交付するとともに、担当部署の協力により、協働関係の構築と公益的な市民活動支援を図ることができた。	
課題	業務	補助金に頼る公益的事業にせず、行政との市民協働をきっかけに、市民活動団体等の事業自立に向けた支援を行う必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」において、「アイラブつくばまちづくり補助金」で採択された事業の広報支援を行うとともに、取材時にあたっては事業自立に向けた支援を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	034 地域を支える人材づくり					
予算科目	01-030110-17			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約	10-1			係名	自治振興係	
戦略プラン	I-1	2	2	地域を支える人材づくり	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	16平和と公正をすべての人に
						17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	市民
目的	市民と行政との意思疎通を図り、地域コミュニティ活動の活性化を目指す。
概要 (取組内容)	市長・区長サミット及び地区リーダー勉強会を実施する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	350	283	283	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	1,700	1,700	1,700	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市長・区長サミット、地区リーダー勉強会
企画・立案、計画	特になし
実行	市長・区長サミット、地区リーダー勉強会
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	人材づくりイベントの参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、「地区リーダー勉強会」は中止になった。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市長・区長サミット及び地区リーダー勉強会は中止になった。	
課題	業務	各地域のコミュニティ活動をより活性化するため、地域社会のリーダーである区長へ向けた勉強会（講演会）の内容を検討していく必要がある。
	組織、予算等	市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進める必要がある。
改善目標	地域のリーダーである区長の担い手不足など、区会における近年の課題をテーマにした勉強会（講演会）を開催して、その解決策を検討していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	152 区会活動振興事業					
予算科目	01-030110-17			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約	10-1			係名	自治振興係	
戦略プラン	I-1	2	3	区会運営に対する支援	新規・継続	継続
	I-1	2	4	区会の負担軽減	事業分類	自治事務（任意）
	I-1	2	1	区会加入及び新規区会設立促進	事業体制	一部委託
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	16平和と公正をすべての人に
						17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民
目的	地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の活性化を図る。
概要 (取組内容)	区会に対して行政文書の配布回覧を委託し、行政情報を周知する。 区会活動の紹介や加入促進活動などで日頃から助けあえる地域コミュニティの大切さを啓発する。 区会から申請を受け地区集会所建築等補助金交付要綱に基づき、集会所の新築・増改築・修繕に対し補助を行う。 老朽化した案内板を撤去する。 ※行政改革アクションプラン「66 区会活動の振興」該当事業

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	151,870	151,799	151,799	
	決算額	(千円)	149,981	149,239	148,280	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	149,981	149,239	148,280	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,959	17,314	10,833	11,572	11,572	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	2.40	1.55	1.55	1.55
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	420.00	119.00	420.00	420.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	区会活動などの情報を発信する。
企画・立案、計画	特になし
実行	区会回覧の電子化を実施する際に、意見等を求める。
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	区会加入促進及び新規区会設立啓発業務数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	宅建協会加盟事業者の不動産店、区会加入率の低いTX沿線のスーパー・ドラッグストアでポスター掲示及びチラシの設置。市内を走るつくバス25台にチラシを掲示。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	区会加入促進については、宅建協会加盟事業者の不動産店や区会加入率の低いTX沿線のスーパー・ドラッグストアに加入促進の啓発ポスター掲示及びチラシを設置した。また、市内を走るつくバス25台にもチラシを掲示した。加えて、区会業務の負担軽減については、電子回覧の実証実験を実施した。
成果	電子回覧の実証実験を12区会で実施した。紙回覧では、市から届く回覧文書を受け取る担当者（区長・役員・班長等）に負担が集中していたが、電子回覧にすることで、その負担を軽減することができた。また、地区集会所の建築等補助金については、新築1件及び修繕34件の補助金を交付し、区会活動の支援ができた。
課題	<p>業務</p> <p>持続可能な区会活動を推進するため、区会加入促進や区会業務の負担軽減を引き続き検討していく必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進める必要がある。</p>
改善目標	区会加入促進については、区会加入率の低いTX沿線を中心に検討していく。また、電子回覧の実証実験については、対象の区会を増やして検証を行う。更に、現在、行政文書の回覧等を各区会へ業務委託としているが、電子回覧に向けて制度の変更（負担金等に移行）に伴う相談を関係部署と実施していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—